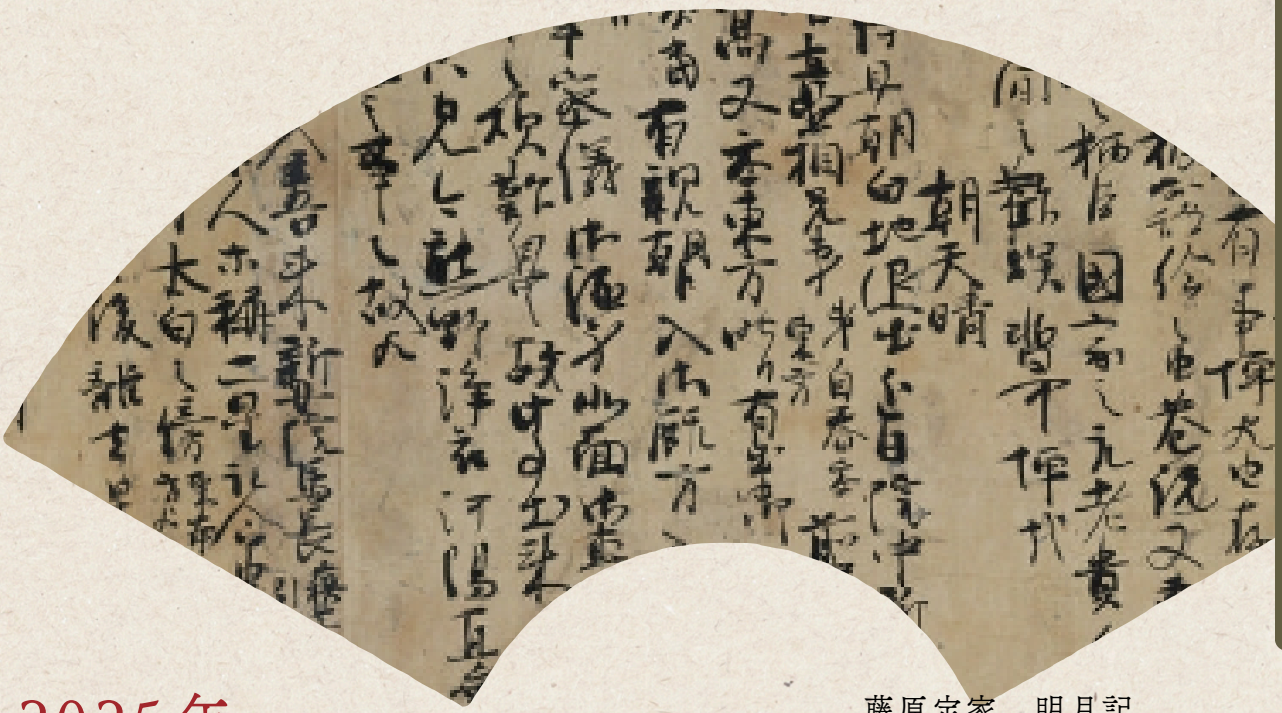
第三回歴史シンポジウム
水無瀬離宮を考える

水無瀬と文学～その一



藤原定家　明月記

2025年
11月30日㊐ 13:00~17:00

※30分前受付開始

主催：水無瀬離宮を未来へつなぐ実行委員会
共催：歴史倶楽部しまもと

要事前申込

ふれあいセンターでご参加：　先着60名
ZOOM視聴でご参加：人数制限なし

水無瀬は、古来より貴人が訪れ、山荘が営まれた地域です。『伊勢物語』には惟喬親王の水無瀬の宮が出てきます。そして鎌倉時代の初めに離宮を営んだ後鳥羽院は、水無瀬の風情や土地を愛し、幾度となく当地で遊興し、新古今集に代表される和歌や連歌などの文化を興隆させました。藤原定家はその場に共にいて、日記に水無瀬のことを書き記しています。風光明媚な水無瀬の環境が貴人や文人を呼び、そこで繰り広げられた雅やかな世界がありました。

参加費　町内在住：500円、町外在住：1000円
（ZOOM配信も同じ金額です）

会場　島本町ふれあいセンター　3階
定員　視聴覚室（対面30名）
第1学習室（リモート視聴30名）

申込　QRコードからお申込みください。
スマホをお持ちでない方は
090-2061-8001（しらふじ）または
下記メールでお知らせください。

講演1　「本拠を離れて詠む和歌」（仮）
中村 文さん（元埼玉学園大学）

講演2　「『明月記』に見える後鳥羽上皇と水無瀬」（仮）
美川 圭さん（立命館大学）

セッション
中村 文さん
美川 圭さん
髙橋 昌明さん（神戸大学）

お問合せ　歴史倶楽部しまもと：shimamoto_history@outlook.jp